

## 平成26年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名: 詳細環境調査

調査媒体: 水質(ng/L)

地方公共団体: 横浜市

調査地点: 鶴見川亀の子橋(横浜市)

調査対象物質	測定値(評価値)	報告時 検出下限値	検出下限値
	検体1		
[1] アクリル酸	3200	100	30
[3] 2-アミノエタノール	1,500	60	60
[7] クロロベンゼン	nd	0.14	0.17
[8] 4-クロロ-2-メチルフェノール	nd	0.55	3.2
[9] シクロヘキサン	nd	0.4	1.2
[10] 2,4-ジクロロフェノキシ酢酸 (別名: 2,4-D又は2,4-PA)	6.6	0.08	0.08
[11] $\alpha$ -(ノニルフェニル)- $\omega$ -ヒドロキシポリ(オキシエチレン)類 (重合度が1から15までのもの) (別名: ポリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル類(重合度が1から15までのもの))	190	43	43
[11-1] モノ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル類	nd	34	34
[11-2] ジ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル類	38	0.4	0.4
[11-3] トリ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル類	21	0.5	8.1
[11-4] テトラ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル類	13	0.8	1.9
[11-5] ペンタ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル類	10	0.6	0.6
[11-6] ヘキサ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル類	14	0.6	1.8
[11-7] ヘプタ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル類	12	0.8	2.8
[11-8] オクタ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル類	11	0.8	1.2
[11-9] ノナ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル類	13	1.0	1.6
[11-10] デカ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル類	12	0.5	2.4
[11-11] ウンデカ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル類	14	0.5	0.9
[11-12] ドデカ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル類	11	0.6	1.4
[11-13] トリデカ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル類	8.2	0.7	1.1
[11-14] テトラデカ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル類	6.2	0.9	1.7
[11-15] ペンタデカ(オキシエチレン)=ノニルフェニルエーテル類	5.0	0.6	2.7
[13] ビス(2,2,6,6-テトラメチル-4-ピペリジル)セバケート	nd	4.9	4.9
[14] 4-(2-フェニルプロパン-2-イル)フェノール	4.4	2.5	2.5
[15] 4,4'-(プロパン-2,2-ジイル)ジフェノール (別名: 4,4'-イソプロピリデンジフェノール又はビスフェノールA)	49	1.7	1.7
[16] ポリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル類(重合度が1から10までのもの)	5.3	1.7	1.7
[16-1] モノ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル類	3.2	0.53	0.53
[16-2] ジ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル類	1.6	0.14	0.14
[16-3] トリ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル類	0.35	0.11	0.11
[16-4] テトラ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル類	nd	0.16	0.16
[16-5] ペンタ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル類	nd	0.17	0.17
[16-6] ヘキサ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル類	nd	0.15	0.15
[16-7] ヘプタ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル類	nd	0.10	0.10
[16-8] オクタ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル類	nd	0.09	0.09
[16-9] ノナ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル類	nd	0.12	0.12
[16-10] デカ(オキシエチレン)=オクチルフェニルエーテル類	nd	0.08	0.08
[17] モルホリン	300	84	84

(注1) nd: 不検出

(注2) : 検出下限値は、異性体ごとの検出下限値の合計とした。